

公表日

2026年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 真岡熊倉教室

保護者等数(児童数) 7名

回収数 6件(割合85%)

| | | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|--|---|----|---------------|-----|--|--|--|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 4 | 1 | | 1 | 活動の様子をその場で見たことがないのでわからない。 | バーションで遊ぶスペースと学習スペースを分け、スムーズに活動が出来るようにしています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 5 | | | 1 | | 放デイ・児発ともに1日13名程の利用者に対し、5名程の職員で対応しています。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 6 | | | | 教室に段差はなく、子どもにとってわかりやすい環境だと思う。勉強スペースと遊ぶスペースが分かれているのも良い。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 6 | | | | 教室が明るく、清潔感があります。 | 今後も清潔を保てるよう掃除を行っていきたいと思います。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 6 | | | | 先生方が子どものことを理解し、親身に対応してくれている。 | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 5 | | | 1 | 公表している支援プログラムを知りません。 | こぼんはうすのホームページから熊倉教室を開いていただくとご覧いただけます。 |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 6 | | | | 本人、家族、移行、どの支援も具体的だと思います。 | |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | リトムで毎回支援内容について知らせてくれ、計画に沿っている。 | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 3 | | | 3 | 何パターンかくり返しの反復が主です。ただそれについては不満はありません。 | 一人ひとりの発達にあった課題の提供、集団活動におけるレクリエーションを増やして対応しています。反復を行うことにより記憶の定着や忍耐力を育みます。 |
| 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 1 | 1 | 2 | 2 | こぼんで保育園などとの交流はないです。特に求めてません。 | 現在、他施設との交流の場は設けておりません。感染症の流行状況など踏まえて検討していきたいと思います。 | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 6 | | | | | |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 6 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 1 | 1 | 2 | 2 | 今のところ、ペアレントトレーニングの案内を聞いたことはありませんが、参加は希望しません。 | 希望があった場合、開催を検討していきたいです。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 6 | | | | 送迎時に伝達し合えてると思います。 | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 4 | 1 | | 1 | | モニタリング以外でも相談を受け付けているため、いつでもお声がけください。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | |
| 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていると思いますか。 | | 1 | 3 | 2 | そういった機会はありますが、特に求めています。 | 希望があった場合、開催を検討していきたいです。 | |
| 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 6 | | | | 相談などの場としてはモニタリングでお話できる。相談についてはすぐに返答やアドバイスを貰っている。 | モニタリング以外でも相談を受け付けているため、いつでもお声がけください。 | |

| | | | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 5 | | | 1 | インスタでレクリエーションの様子を見ている。 | 今後も子どもたちの姿や活動内容を発信していきたいと思います。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 3 | | | 3 | マニュアル等の訓練については、実施されているか、周知・説明なくわからない。 | 各マニュアルは、事務室に掲示され職員が確認できるようにしています。また、発生を想定した訓練を年間計画に沿って行っております。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 4 | | | 2 | レクリエーションで避難訓練を行っている。 | 火災、地震、不審者など定期的に避難訓練を行っております。避難訓練の様子は、インスタグラムにて投稿しております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 4 | | | 2 | 今まで大きな怪我をしたことがないのですが、小さな怪我についても、その日の送迎時に説明してくれる。 | 大きな怪我や体調不良があった場合は、保護者の方のお電話にて連絡させていただいています。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 5 | 1 | | | ・楽しく通所している。・先生との信頼関係がしっかりできていると感じる。信頼関係のおかげで安心感を持って通所している。 | 今後も安心して通えるよう、職員一同努めていきます。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 5 | 1 | | | 通所のない日でも教室の前を車で通ると「こぼさんだー！」と喜ぶことがある。 | まずは楽しく過ごし、その中で療育を行えるように努めていきます。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 6 | | | | ・手がかかる我が子だが、本人は事業所を楽しみにしている。・子どもが楽しめるレクリエーションを行っていただいている。 | 今後ご満足いただける支援を行えるよう努めていきます。 |

公表日

2026年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 真岡熊倉教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|---|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | | 適切ではあるが、体が大きくなるにつれて狭くなってきているので、外での活動を増やしながら対応してる。 | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | | 利用定員と照らし合わせながら、勤務表を作成し、安心安全に過ごせるよう配置している。 | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | | パーティションで学習場所、活動場所を区切り、スムーズに行動できるようにしている。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | | 日頃から掃除を徹底し清潔さを保っている。 | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3 | 2 | やむを得ない場合やクールダウンが必要な場合は、職員と一緒に事務室や玩具部屋を活用し、個別に使用できる部屋を作っている。 | 部屋数が少ないため、子どもが一人で落ち着きたい等の理由で個別の部屋を使用することは難しい。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 5 | | 日々、職員間で話し合いながら業務改善に努めている。 | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | 評価表を参考にしながら、職員間で話し合いできる限り取り入れている。 | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | 職員会議や日々の話し合いのなか意見を出し合い改善につなげている。 | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | 本部の方の評価を踏まえて改善につなげている。 | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 5 | | 日頃の子どもの様子とニーズを組み合わせながら作成を行っている。 | |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | | 日頃の子どもの様子など全員が意見を出し合える場を用意している。 | |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | | | |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | | 現状で行えることを認識しながら、お子様にとって最適な計画を考え作成している。 | 現状「地域交流の機会の提供」に関して組み合わせて行えていないと感じる。 |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | | 全員がアイデアを共有し、ブラッシュアップしながらプログラムを作っている。 | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | レクリエーションの種類を増やし、利用人数や年齢等加味しながら行っている。 | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | | 支援開始前に話し合う機会を設け、疑問や連絡事項、役割等確認している。 | |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 2 | その日のうちに可能な限り情報共有を行っている。送迎等で難しかった場合は、次の日に行っている。 | 支援終了後に必ず打ち合わせや振り返りは行えていない。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|---|---|-----------------------------|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | 定期的に行っている。 | |
| | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 2 | 送迎時に子どもの様子を伺い、その日の様子や体調に応じた対応を行っている。 | 保育園等、送迎時に子どもの様子を聞くことは出来ているが、連携した支援とは言えない。 |
| | 26 | 併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 3 | 2 | 利用児童が通っている園とは、送迎時に情報共有を行ったり、保護者を介して園での様子を伺っている。 | 行うことが出来ていない部分も多い。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 1 | 4 | 必要な情報については保護者様を通じて情報共有を行っている。 | 行うことが出来ていないことも多いが、必要になった際には、しっかりと行っている。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | | | | |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | | | |
| | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 4 | 1 | 年に数回、スーパーバイズの方から助言をいただいている。 | | |
| 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | | 5 | | 時間等の関係、感染状況など、交流の時間を設けられていないのが現状。 | |
| 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | | | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | 4 | 児童発達支援管理責任者から情報提供等を行っている。 | | |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | モニタリング等を行い、保護者様の意向を聞いたうえで子どもにとって最善な計画を考え作成している。 | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 5 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 5 | | 父母の会、保護者会等、行ってないため、要望の声が上がった際には検討していきたい。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | レクリエーションカレンダーやリズム、インスタグラムを活用し、行事予定や様子を発信している。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | 個人情報になるものは鍵付きの保管庫に入れ、パソコンにもロックをかけ外部に漏れないようにしている。 | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 5 | | 時間との関係でなかなか開催することは出来ない。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|---|
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | | | 職員は周知することが出来ている。だが、保護者が周知していない場合があるため、インスタグラム等活用していく。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | | | 利用前にお子さまの情報を書類で残してもらい、職員全員に共有している。 |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 1 | | アレルギーについては、しっかりと保護者様に確認し、職員全員に共有し対応している。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | 1 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | | | 事故等があった場合、書類に残し、職員間で共有して再発防止に努めている。 |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | | | 虐待防止の研修に参加・事業所内でも研修を行い、適切な対応が出来るよう体制を整えている。 |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 5 | | | 身体拘束について研修に参加し、職員全員が理解しながら支援を行えるようにしている。また、保護者から書面で同意も得ている。 |